

リハビリテーション科

○リハビリテーション科の概要

1. リハビリテーション科の特色

リハビリテーション医学はさまざまな病態、疾患、外傷などにより生じた機能障害を回復し、残存した障害を克服しながら人々の活動を育む医学分野です。リハビリテーション医学・医療の対象者は、小児から高齢者まですべての年齢層に広がっており、対象とする疾患や障害は、運動器障害、脳血管障害、循環器や呼吸器などの内部障害、摂食嚥下障害、小児疾患、がんなど幅広い領域に及んでいます。リハビリテーション科はさまざまな疾患や障害を対象とし、多くの診療科や専門職と関わり、協働して医療を進めていく診療科です。

2. 診療実績

2016年リハ科外来:初診患者数 2,476人、再来患者数 12,560人、計 15,036人

2016年リハ科病棟入院患者数(新患) 216人、内訳 1) 脳血管障害・脳腫瘍・頭部外傷等 85人、2) 脊髄損傷・脊髄腫瘍等 22人、3) 骨関節疾患・リウマチ疾患等 55人、4) 神経・筋疾患等 7人、5) 呼吸・循環器疾患等 15人、6) 末梢循環障害 3人、7) 廃用症候群 29人(当院に回復期リハビリテーション病棟はありません)

リハビリテーション科専門医(専攻医)の育成を積極的に進めるため、より良い診療・教育・研究体制の在り方を2020年4月から始動できるように現在検討中です。

3. 診療スタッフ

教授1、講師1、助教1

4. プログラムの特徴

埼玉医科大学病院は特定機能病院であり、急性期治療を担当する病院です。当科では急性期のリハビリテーションを担当しています。各科に入院中に行う急性期リハビリテーションからリハビリテーション専門病院に転院しておこなう回復期および在宅などで行う維持期のリハビリテーション医療を一連として捉える考え方で診療しています。院内のほとんど全ての科から依頼を受けて入院中の他科の患者さんのリハビリテーションを担当しています。各疾患に応じた早期からのリハビリテーションを安全に行うために必要なリハビリテーション診断(評価)と処方ができるように研修を進めていきます。

5. 指導責任者

倉林 均(教授・診療部長)

6. 週間予定表

	午前	午後	夕方以降
月曜日	外来・病棟	外来・病棟、病棟新患紹介 (13:30-)	リハ科全体勉強会 (1/月、18:00-19:00)
火曜日	外来・病棟、他施設見学(最終週)	外来・病棟、装具診	
水曜日	外来・病棟、ミニレクチャー	外来・病棟	
木曜日	外来・病棟	外来・病棟、ミニレクチャー ボツリヌス治療	医局会(18:00-) 症例報告(最終週)
金曜日	外来・病棟、他施設見学(最終週)	外来・病棟・筋電図	
土曜日	嚥下造影検査	休み	

- 指導医:倉林、山内、前田:(リハ医学全般)
- 受け持ち患者(入院中で他科からリハビリテーションを依頼された患者を含む)については指導医の指導を受ける
- 教科書:リハビリテーション医学・医療コアテキスト(日本リハビリテーション医学会監修)、医学書院

○学習の目標

一般目標(GIO)

リハビリテーション医学が機能障害を回復し、残存した障害を克服しながら人々の活動を育む医学分野であることを理解する。

行動目標（SB0s）

- ・ 初歩的なリハビリテーション診断と処方を行うことができる。
- ・ 急性期，回復期，維持期のリハビリテーション医療の役割について患者に説明できる。
- ・ 急性期病院である大学病院でのリハビリテーション治療の概略を説明できる。

連絡先

リハビリテーション科 倉林 均

電話：049-276-1255 fax：049-294-2267

E-mail: hkuraba@saitama-med.ac.jp